

事業名	家庭教育事業 楽しく家庭教育講座				
ジャンル	家庭教育 ・ 青少年教育 ・ 成人教育 ・ 団体育成				
事業分類	実際生活に即する教育 ・ 学術及び文化に関する各種の事業 (社会教育法第20条「公民館の目的」より)				
事業意図	住民の教養の向上 ・ 健康の増進 ・ 情操の純化 (社会教育法第20条より)				
事業目的	生活文化の振興 ・ 社会福祉の増進 (社会教育法第20条より)				
日程	(1) 令和7年5月24日 (2) 令和7年9月20日	講師	(1) 六崎美千代氏、高梨直子氏 (2) 佐々木寿美子氏	参加費	(1) 700円/組 (2) 600円/名
対象者	(1)、(2) 地域住民(小学生、保護者)	参加者数 (延べ)	(1) 7組15名 (2) 5組11名	募集方法	(1)、(2) 和田小児童周知、公民館チラシ配架、 和田学童保育所連携
趣旨	子どもがより良く育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習し、家庭教育環境の向上を図る				
内容	【親子クッキング】 (1) ホットケーキMIXで簡単パン ・カントリーブレッド ・バナナマフィン ・キャベツのスープ (2) 太巻き寿司づくり ・太巻き寿司				
工夫	(1) ホットケーキMIXで簡単パン ・小学生親子が作りやすいもの、また、調理時間を考慮 (2) 太巻き寿司づくり ・初心者の方でも巻ける、わかりやすい作り方であるもの				
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果によると約9割の参加者が、「わかりやすかった、よかった」と回答</li> <li>自宅では、親子で料理する時間がなく、有意義な講座であった(ホットケーキMIXで簡単パン)</li> <li>子どもがだん食べない食材を美味しく食べる姿を見て嬉しかった(太巻き寿司づくり)</li> <li>親子クッキングを通して、親子で協力して料理することの楽しさ、達成感を味わうことができる</li> <li>家庭内において、親子のコミュニケーションが深まる</li> <li>郷土料理である太巻き寿司をつくり、伝承された食文化を学ぶことができる</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業対象者についての検討</li> <li>事業目的を達成するために内容の検討</li> <li>地域ならではの事業展開</li> </ul>				

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館が行う必要があるか。</li> <li>市民や利用者のニーズに合っているか。</li> <li>目的や役割が薄れていないか。</li> <li>事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。</li> </ul>
優先性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の優先度は高いか。</li> </ul>
公平性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者に情報は流れているか。</li> <li>受益者負担はあるか(実費・教材費)</li> </ul>
有効性	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>期待通りの成果が得られているか。</li> <li>さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。</li> <li>市民の満足度は高いか。</li> </ul>
効率性	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の効率性はどうか。</li> <li>事業運営に学習者が参画しているか。</li> <li>他事業との統合は考えられるか。</li> </ul>
総合評価	B	A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果はある程度ある。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。
特記	項目別評価は、Aが過半だが、今後の課題もあり総合評価はBとした	

《凡例》 良い ← A B C D → 良くない	《判定例》 <table style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td> </tr> <tr> <td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>B</td><td>B</td><td>B</td><td>B</td><td>B</td><td>B</td> </tr> <tr> <td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>B</td><td>B</td><td>B</td><td>B</td><td>B</td> </tr> </table>	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	B	B	B	B	B	B	B
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A																						
A	A	B	B	B	B	B	B	B	B																						
A	A	A	B	B	B	B	B	B	B																						

次年度展望	②	①: 事業拡大 ④: 目的達成により終了	②: 現状規模で継続 ⑤: 統合・改善・その他	③: 事業縮小
-------	---	-------------------------	----------------------------	---------

## 令和7年度 公民館事業評価

### ☆和田公民館 公民館運営審議委員意見

事例発表：家庭教育事業 楽しく家庭教育講座

ジャンル：家庭教育

委員①	
総合評価	A

委員②	
総合評価	A
・親子で楽しそうに参加している様子が目に浮かぶ企画 ・親子のコミュニケーションを深める良い機会になっている。	

委員③	
総合評価	A
地域ならではの授業展開であり、親子の関係性を良好なものにできる本事業の可能性を大切にしていきたい。参加人数については地域性や場の設定を考えるとこのくらいが適切なのか？と思う。（日にちが増やせれば別だが…）	

委員④	
総合評価	A
和田小学校の児童と保護者が参加対象で、保護者の半分が父親、普段一緒に料理をすることもないので親子でクッキングすることで普段と違うふれあいの時間となったと思います。家庭に戻っても、このクッキングを元にしてコミュニケーションが広がるだろうと思います。	

委員⑤	
総合評価	A

委員⑥		親子が楽しくクッキングする様は、家庭教育事業という観点からとても素晴らしいことです。特に郷土料理である太巻き寿司を選択していることは、親子の絆を各行事ごとに家庭で再現しようと計画できる行事であると思います。
総合評価	A	

委員⑦		全校児童数40名足らずで、内10名以上が学区外から通う小規模特認校の児童と親を対象とした講座です。2回の講座はいずれも食に関する、参加者の関心をそそり、とりわけ太巻き寿司は郷土色が濃く、どの家庭でも伝え継いで欲しいテーマです。家庭でも子どもたちと一緒に楽しみながら調理できる内容です。徴収する参加費も適切です。
総合評価	A	

委員⑧		<ul style="list-style-type: none"> <li>・和田公民館らしいきめ細かな内容で、子供から大人まで参加できる事業を工夫されています。</li> <li>・親子クッキングはワクワク感が伝わってきます。後日談も聞きたいです。</li> <li>・太巻き寿司は郷土料理の伝統文化の継承にもつながる価値のある事業です。是非、続けて頂ければと思います。</li> <li>・親子で参加する機会はとても貴重です。もし、可能なら、お父さんにも参加したくなるような誘いを工夫されては如何でしょうか。</li> </ul>
総合評価	A	

委員⑨		特にありません
総合評価	A	

委員⑩		家庭教育環境向上の趣旨としては理解できます。そして、多くの父親参加も良く、企画としては良かったと思います。 和田地区限定としたことの是非を問いたい。
総合評価	B	

委員⑪		総合評価	A	<p>コロナ禍も一段落し、親子で料理を作ることができたことは参加者の事業の満足でよかったと思います。</p> <p>今後の課題として、衛生面、インパクト等から考えて、高温時（9月）を避け、節分の時期（1月末から2月初）に実施、又、太巻き寿司は、房総地方にもあり、佐倉市にも関心のある人も多くあると思いますので、和田地区以外にも参加者を募集する等、検討してください。</p>

委員⑫		総合評価	B	<p>ホットケーキ作りが講座としてなり立つのか疑問であった。しかし対象を小学生と保護者とした中で、保護者の半数が父親であったと知り、成果有りと認めた。結果論だが目論見は変るとしても、寧ろ「お父さんの台所デビュー」とか、父親の参加を前面に打ち出してみたら面白かったかも知れない。次に太巻き寿司作りだが、そもそも佐倉域に根付く伝承された食文化ではない。確かに今回作ったものは「太巻き祭り寿司」の範疇に入り、千葉県祝い飯として知られた物だが、佐倉を中心とした印旛地区で認知されたのは極々最近のことである。しかし、和洋料理を子と保護者で作る発想と狙いは評価出来る。この講座も定員増について考えても良いと思う。</p>

委員⑬		総合評価	A	<p>太巻き祭り寿司（まつりずし）は上総地方の郷土料理ですが、今では千葉県全体に広がっています。伝承された食文化を親子で学ぶことは大変意義のある事業だと思います。</p>

委員⑭		総合評価	B	<p>ホットケーキミックスを用いた手軽な調理から、郷土料理である「太巻き寿司づくり」まで、段階を踏んだプログラム構成が非常に効果的である。単なる料理教室に留まらず、伝統的な食文化の継承や、親子間のコミュニケーション深化に寄与している点を高く評価したい。今後は課題にある「地域ならではの展開」として、地元の食材活用や地域の高齢者との多世代交流など、公民館というプラットフォームを活かしたさらなる発展を期待する。</p>

委員⑮		総合評価	A	<p>ホットケーキミックスでパンとは、私も新しい発見でした。ぜひやってみたいと思いました。</p> <p>太巻き寿司は私共のように外部から移り住んだ者にとっては、大人でも興味があり、習いたいと思いました。</p> <p>また、大人向けの講座もお願いします。</p>